

村上の国有林における取組

—令和4年度—

下越森林管理署
村上支署



- 令和4年度岩船地域民国連携推進会議
- 国民参加の森づくりについて(社会貢献の森)
- 令和4年8月県北地域を中心とする豪雨災害

令和4年度岩船地域民国連携推進会議

【目的】

村上地域振興局(新潟県)、村上市、関川村と事業実行がスムーズに進むように意見交換を行う。



【内容】

新潟県(村上地域振興局)、村上市、関川村と令和4年度事業に係わる情報交換をしました。また、ニホンジカの生息情報交換や現地検討会の連携実施について呼びかけました。

村上地域振興局の「コンテナ苗現地研修会」(6月)と村上支署の「下刈等現地検討会」の場で互いの講話を交えての実施することとなりました。

【成果】

4月に実施した岩船地域民国連携推進会議により村上地域振興局のコンテナ苗現地研修会(6月)と村上支署下刈等現地検討会(9月)と連携して実施することとなりましたが下刈等現地検討会は8月豪雨災害のため林道被害を受けたことから地域振興局とも相談の上、中止となりました。

なお、6月のコンテナ苗現地研修会において当支署からは講話を行いました。

【今後】

今後も会議を継続し関係機関との情報交換を続けたいと思います。

■ 国民参加の森づくりについて(社会貢献の森)

【目的】

三面川流域を「さけの森林」として整備・保全を促進し、村上市伝統文化を後世に引き継ぐ活動に協力していくこと。



【令和4年8月1日協定調印式】



【令和4年10月8日森林整備イベント】

【内容】

近年の台風災害等により会場までの連絡道路が被災し3年連続して活動が中止となっていました。また、当初設定された地域は奥地であり、長年の活動により現地の整備も進み「さけの森づくり推進協議会」も高齢化が進んだことから移動もしやすく子供たちでも利用のしやすい場所で本活動を行うことが出来ないか等の要望があったことから新たな場所の選定に村上支署も取組み新たなさけの森林として協定を締結し森林保全活動を再開いたしました。

【成果】

令和4年8月1日に協定締結となりました。

令和4年8月3日に豪雨災害がありましたが協定箇所の被害は過少で、小規模となりましたが4年ぶりに森林整備イベントの開催ができました。

イベントに当たっては村上支署職員も講師として参加し、植樹・薪割・炭焼・間伐・枝打体験と盛りだくさんでした。



【ホオノキの植樹】



【薪割体験】



【枝打ち体験】

【今後】

当年度は8月豪雨災害のためイベントは小規模開催となりましたが、今後については以前からの規模に戻していく予定です。

令和4年8月県北地域を中心とする豪雨災害

【目的】

令和4年8月に発生いたしました県北地域を中心とする豪雨災害による土砂崩等の調査や工事等を行っています。

【内容】

- ▼災害名：令和4年8月豪雨災害
- ▼発生日月：令和4年8月4日
- ▼観測雨量：559.5mm/最大24h 148mm/最大1h
- ▼被害状況：

令和4年8月3日から4日にかけて東北の日本海側や北陸地方では、前線の停滞と併せ、台風6号を起因とする熱帯低気圧の影響により、線状降水帯が発生し、新潟県北部では記録的な豪雨となりました。

新潟県関川村に設置されている下関気象観測所においては8月3日6時～4日6時までの24時間雨量が559.5mm、最大時間雨量148mm（8月4日1時～2時）となり、いずれも観測史上最多を記録しました。

この豪雨により、荒川下流域の国有林、民有林等において広い範囲で山腹崩壊が発生し、国道113号やJR米坂線に崩落土砂が流出し、国道は一時全面通行止めとなりました。（現在は解除されている）JRは現在も不通であり、不通区間では代行バスが運行されています。

【成果】

初期段階では、現地調査、地元説明会への参加、リエゾン派遣、緊急物資の提供、応急対策等を行いました。

現段階では、予算を確保しながら優先順位の高いところから本工事の公告入札、契約を進めています。

【今後】

災害から現在は、国交省、新潟県、村上市、関川村等の関係機関との情報交換や調整等を行いながら官民一体で早期復旧・復興に向け進めています。



村上市 小岩内



住民説明会（8月19日）



花立での応急措置